

報道関係者各位

2022年4月11日

～聴覚障がい者スポーツへの理解を深める活動を支援～

ケイアイスター不動産株式会社と日本ろう者サッカー協会が オフィシャルパートナー契約を締結

ケイアイスター不動産株式会社（本社／埼玉県本庄市、代表取締役／塙 圭二、以下「当社」と言う。）は、一般社団法人日本ろう者サッカー協会（愛知県豊明市、代表理事／野呂 啓、以下「JDFA」と言う。）とオフィシャルパートナー契約を締結いたしました。契約期間は2022年4月1日から2023年3月末日までの1年間です。



オフィシャルパートナー契約締結の背景

ケイアイチャレンジドアスリートチームは、トップアスリートとして高いレベルでのトレーニングと競技を続けながら、社内の研修講師や商品開発などの業務に携わるほか、各地でイベントや体験会などを開催しています。また埼玉県本庄市や同県内の教育機関と連携したパラスポーツの認知向上のための啓もう活動も積極的に行っています。これまで、本庄市内のジュニアスポーツ大会や学校での体験会を行うなど、延べ800名以上の方々にパラスポーツを体験していただきました。

同チームはその他の性別、年齢、国籍、障がいの有無などの多様性を尊重し、あらゆる従業員が共に活躍・成長できる職場環境の実現を目指しています。また、当社は多様な意見をイノベーションの促進やビジネスの成長に活かすことを目的に、ダイバーシティ&インクルージョンを推進しています。

JDFAの「デフサッカー・フットサルを通して、聴覚障がい者と健常者が当たり前混ざり合う社会を実現する」とのビジョン、ならびに人々に勇気・希望・感動を与える活動に当社は賛同し、2020年度からゴールドスポンサー契約を締結しており、今年度はオフィシャルパートナー契約を締結することを決定しました。

引き続き、当社はJDFAと協力して手話講習・講演・フットサル交流会など、社内外において聴覚障がい者スポーツへの理解促進や普及啓発を進めていきます。また、本契約に伴い、デフサッカー・フットサル日本代表トレーニングウェア及び移動着に当社のロゴが掲出されます。

ろう者（デフ）サッカー・フットサルについて

ろう者(デフ)サッカー・フットサルは、聴覚に障がいのある選手によるスポーツで「音のないサッカー」とも呼ばれます。ルールは通常のサッカーとほぼ変わらず、FIFA（国際サッカー連盟）が定めるルールに則って行われます。選手は競技中、補聴器を外すことが義務付けられており、ピッチ上ではアイコンタクトや手話でコミュニケーションを取っています。

デフフットサルW杯 2019 では、男子日本代表が10位、女子日本代表はそれまでデフフットサルW杯2連覇中だったロシアを破るなど史上最高位となる5位と躍進、デフサッカー男子日本代表もデフリンピック 2017 のグループリーグで初勝利を挙げるなど、今後のさらなる活躍が期待されています。今年5月1日（日）～5月15日（日）ブラジル（カシアス・ド・スル）で開催される第24回夏季デフリンピックにデフサッカー女子日本代表が出場します。

■一般社団法人日本ろう者サッカー協会について

一般社団法人日本ろう者サッカー協会は、日本におけるろう者サッカーとろう者フットサルの普及、発展及び競技力の向上に関する事業を行い、耳の不自由な方々のスポーツ文化の振興と心身の健全な発達に寄与するとともに、国内や国際社会における交流に貢献することを目的に、1998年4月に設立されました。その後、日本代表の育成とさらなる強化を目指し、2015年に一般社団法人の認可を受け、協会としてスタートを切りました。デフサッカー・フットサルを通じて聴覚障がい者と健常者が当たり前混ざり合う社会を実現し、デフサッカー・フットサルの強化に努め日本代表が世界で活躍することで、人々に勇気・希望・感動を与えることをビジョンに掲げています。健全な組織の構築に努め、社会的責任を果たしていくことで、デフサッカー・フットサルの価値向上に取り組んでいます。

日本ろう者サッカー協会公式サイト URL:<http://jdfa.jp>

■当社所属アスリート・スタッフ

山本 典城：デフフットサル女子日本代表 監督
 川畑 菜奈：デフサッカー日本代表、デフフットサル日本代表候補
 岩淵 亜依：デフサッカー日本代表、デフフットサル日本代表候補（キャプテン）
 酒井 藍莉：デフサッカー日本代表、デフフットサル日本代表候補
 中井 香那：デフフットサル日本代表候補
 宗澤麟太郎：デフフットサル日本代表候補



山本 典城（やまもと よしき）

2020年4月入社

【デフフットサル女子日本代表 監督】

2019年デフフットサルW杯日本代表監督

2013年にデフフットサル女子日本代表監督に就任

2019年W杯では史上最高位の5位にチームを導き、

2023年W杯までの監督続投が決定

悲願の世界一を目指す



川畑 菜奈（かわばた なな）

2016年6月入社

【デフフットサル日本代表候補・サッカー日本代表】

2019年デフフットサルW杯日本代表

デフリンピック・デフW杯多数の出場経験を持つ

自身の所属チーム「アレグリーナ」では監督経験もあり、

現在はキャプテンも務める

来季デフW杯やデフリンピック出場、金メダル獲得を目指す



岩淵 亜依（いわぶち あい）

2019年4月入社

【デフフットサル日本代表候補・サッカー日本代表】

2019年デフフットサルW杯日本代表

2021年度 JDFA アスリート委員会 副委員長

国内選手権大会にて最優秀選手賞、MVP等を受賞

2019年デフフットサルW杯ではキャプテンとしてこれまでの最高位5位に大きく貢献

2023年W杯での世界一を目指し活躍中



酒井 藍莉（さかい あいり）

2020年4月入社

【デフフットサル日本代表候補・サッカー日本代表】

2019年デフフットサルW杯日本代表

2019年デフフットサルW杯アジア大会で得点王になるなど、
中心選手として活躍

2023年デフフットサルW杯での世界一を目指す

これからのデフフットボールを背負っていく選手の一人



中井 香那（なかい かな）

2020年8月入社

【デフフットサル日本代表候補】

2019年デフフットサルW杯日本代表

中学時代にはハンドボールで日本一を経験

その後サッカー・フットサルへと異色の経歴の持ち主

2019年デフフットサルW杯での悔しさをバネに

2023年W杯での世界一を目指す



宗澤 麟太郎（むねさわ りんたろう）

2021年4月入社

【デフフットサル日本代表候補】

2019年デフフットサルW杯日本代表

2019年デフフットサルW杯アジア大会で日本代表に初選出

同年のデフフットサルW杯では中心選手として活躍

今後のデフフットサル男子日本代表を牽引していく選手

■ ケイアイチャレンジドアスリートチームとは

「日本一挑戦するアスリートチーム」を理念として、障がいを乗り越えるだけでなく、さらなる高みを目指してチャレンジを続けるパラアスリート集団です。2019年4月に当社所属の障がい者アスリート5名でケイアイチャレンジドアスリートチームを発足しました。

現在は日本代表選手を含む、「デフフットサル」、「デフサッカー」、「ろう者柔道」、「車いすバスケットボール」、「車いすバドミントン」の各競技に計9名のアスリートが所属しています。

ケアイチャレンジドアスリートチームは、トップアスリートとして高いレベルでのトレーニングと競技を続けながら、社内の研修講師や商品開発などの業務に携わるほか、各地でイベントや体験会などを開催するなど埼玉県本庄市や同県内の教育機関と連携したパラスポーツの認知向上のための啓もう活動を積極的に行っています。これまで、本庄市内のジュニアスポーツ大会や学校での体験会を行うなど、延べ 800 名以上の方々にパラスポーツを体験していただきました。

公式サイト：<https://www.athlete.ki-group.co.jp/>



■ケアイスター不動産株式会社とは

「豊かで楽しく快適なくらしの創造」を経営理念に、「すべての人に持ち家を」をミッションとし、『高品質だけど低価格なデザイン住宅』を提供しています。仕入れから販売までの業務フローにITを導入した「KEIAIプラットフォーム」により戸建住宅のサプライチェーンを最適化。抜本的な効率化・生産性の向上により、コンパクトな区画の分譲住宅供給で国内トップクラスの実績を誇ります。

戸建分譲事業を中心に、1都1府14県（宮城、福島、茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、静岡、愛知、大阪、兵庫、福岡、佐賀、熊本）で展開。年間 5,000 棟（土地含む）以上を販売（※）しています。2021年3月期の売上高は 1,557 億円（※）。一般社団法人日本木造分譲住宅協会の立上げに参加し、国産木材の利用を促進するなど ESG にも力を入れています。

2021年、経済産業省「新・ダイバーシティ経営企業 100 選」「DX 認定事業者」認定、「2021 年度グッドデザイン賞」受賞。（※グループ連結数値）

【会社概要】

社名	ケアイスター不動産株式会社（コード番号：3465 東証プライム市場）
代表	代表取締役 塙 圭二
所在地	〒367-0035 埼玉県本庄市西富田 762-1
資本金	4,809 百万円（2021.9.28 現在）
設立	1990 年 11 月
従業員数	2,078 名（連結 / 2022.4.1 現在）
URL	https://ki-group.co.jp/
事業内容	戸建分譲事業、注文住宅事業、総合不動産流通事業 ほか

【報道関係者からのお問合せ先】

ケイアイスター不動産株式会社 戦略開発本部 PR 課

TEL : 03-6259-1750 FAX : 03-6551-2567 E-mail : press@ki-group.co.jp